

協 賛 事 業

全国社会福祉協議会モデル事業 「心豊かなシニアライフのための地域生活応援プラン」

平成20年4月～21年3月

(目 的)

本委員会は、シニア世代やいわゆる「団塊世代」が培ってきた知恵と経験・技術を地域福祉活動に活かし新たな生きがいの発見と、地域でのボランティアの推進を目的。

(内 容)

本委員会は、シニア世代やいわゆる「団塊世代」が地域活動やボランティア活動へ参加することを推進するために次のことを検討及び実施する。

- (1) シニア世代やいわゆる「団塊世代」を対象とした地域参加やボランティア等に関する養成講座の実施
- (2) 地域の生活・福祉課題の解決に向けた事業等の支援、推進
- (3) その他、事業の検討及び実施

(組 織)

この委員会は次に掲げるものの中から20名程度の委員を選出し組織する。

- (1) 企業ボランティア松江ネットワーク会議
- (2) 松江市ボランティア連絡協議会
- (3) 公民館
- (4) NPO法人
- (5) 学識経験者
- (6) 関係行政職員
- (7) その他、この活動推進に関して熱意のある者

実践活動と成果

- ・先駆的な活動者の講演
“お父さんお帰りがなさいパーティー”
- ・「地域振興予算ゼロ課」の誕生
“取ったきねづか 生かせきねづか”

- 活動事例 ①民間で行う韓国親善交流事業
②紙芝居のDVDづくり

「ボランティアの集い」と「ボランティアフェスティバル」の歩み

ボランティアの集い	第 1 回 S.59 3/24 (この回のみ「ボランティア県民の集い」と共催)		
	第 2 回 S.60 4/21	第 3 回 S.61 3/23	第 4 回 S.62 3/15
	第 5 回 S.63 3/6	第 6 回 H.元 3/5	第 7 回 H.2 3/11
	第 8 回 H.5 7/11	第 9 回 H.7 1/23	第10回 H.8 1/26
	第11回 H.9 1/30	第12回 H.10 2/2	第13回 H.10 11/9
	第14回 H.12 2/6	第15回 H.12 11/17	第16回 H.13 11/10
ボランティアフェスティバル 2002 (ボランティアの集い第17回)		H.14 9/14	
ボランティアフェスティバル 2003 (ボランティアの集い第18回)		H.15 9/14	
ボランティアフェスティバル 2004 (ボランティアの集い第19回)		H.16 9/14	
ボランティアフェスティバル 2005 (ボランティアの集い第20回)		H.17 12/11	
ボランティアフェスティバル第1回 ~広がれボランティアの輪~			
ボランティア フェスティバル	第 2 回 H.19 3/11	~広がれボランティアの輪~	
	第 3 回 H.20 3/9	~ふるさとの伝統文化をこどもたちの未来に伝えたい~	
	第 4 回 H.21 3/15	~受け継ぎたいふるさとの伝統文化~	
	第 5 回 H.22 3/14	世界に目を向け心を広げよう ~ハイチ地震支援~	
	第 6 回 H.23 3/6	広がれボランティアの輪 ~もっともっと広がれボランティアの輪~	
	第 7 回 H.24 3/25	広がれボランティアの輪 ~私にもきっとできることがある~ 東北震災支援	
	第 8 回 H.25 3/24	広がれボランティアの輪 ~つなげよう「ありがとう」を~	
	第 9 回 H.26 3/23	広がれボランティアの輪 ~あなたです防災の主役は~	
	第10回 H.27 3/22	広がれボランティアの輪 ~共に創ろう 未来のまつえ~	

平成6年度松江市ボランティアの集い開催



「あなたと私、
私とあなた
つなぎあう手と手」

「つなぎ合う・学び合う・育ち合う」をテーマに、去る平成七年一月二十三日(月)、島根県民会館に於いて、平成六年度松江市ボランティアの集いが開催されました。それは、子どものいじめの問題、また阪神大震災が深刻な社会課題になっているさなかでありました。集いは、加藤裕治・園山正恵さんのボランティア体験発表に加え講演講師として、文部省生涯学習局社会教育官の坂本登先生をお迎えし、いまを生きる私たちの家庭や学校、地域社会はいかにあったらよいかを共に学び合いました。参加者は、教育・福祉関係者をはじめ、一般市民の皆さんが一堂に会するはじめての催しとなりました。

「つなぎ合い・学び合い・育ち合う」道をさがして。

平成12年度松江市ボランティアの集い開催



平成12年11月17日(金)、松江市総合福祉センター大ホールにおいて、平成12年度松江市ボランティアの集いを開催しました。近年の激しい社会の変化に伴って、ますます拡大化、多様化していくボランティア活動の現状と課題を見極めるとともに、将来への展望を明らかにするため、松江市ボランティア協会関係者を中心に、公民館、企業、学校

関係の方々など約 230名が集まり、これからの松江市のボランティア活動について考える場をもちました。

パネルディスカッションでは、「社会の変化に対応したこれからの松江市のボランティア活動のあり方を考える」をテーマに、市民ボランティア代表・目次久義氏、企業ボランティア代表・景山一彦氏、NPO代表・勝部加代氏、学校ボランティア代表・持田高行氏にそれぞれの立場からご提言をいただき、それを受けて山本俊磨島根大学教育学部教授にまとめをしていただきました。

また、ボランティアマネジメント研究所所長の妻鹿ふみ子氏をお迎えし、「これからのボランティア活動を考える」と題してご講演をいただきました。

松江市におけるボランティア活動がますます充実したものになり、ボランティアの輪がどんどん広がっていくことを期待します。



ホーランエンヤ

(広報誌より抜粋)

松江ボランティアフェスティバル

2005

～ 広がれボランティアの輪 ～

日 平成17年 **12月11日**(日)
時 **10:00 ~ 15:00**

場 松江市総合福祉センター
所 松江市千鳥町70
交通: JR松江駅よりバス20分
(市営バス北循環線外回り、福祉センター前下車)

ボランティア
紹介コーナー

展示・販売・体験 など

入場
無料

高専
ロボコン
実演

4F 教養室

ステージコーナー

4F 大ホールにて
(裏面参照)

会場周辺案内図



食のコーナー



豚汁・焼きいも
喫茶など



- ふれあい** 親子でふれあい、地域の人とふれあい、子どもから大人までいっしょにボランティアの輪を広げましょう
- 情報満載** いつでもどこでも誰でも楽しくできる身近な体験やステージ、共に語りあい情報交換の場をひろげてみましょう
- まちづくり** 支えあって、あったかい新松江のまちづくりに市民をあげて参加してみましょう

主催: 松江ボランティアフェスティバル 2005 実行委員会

- 主催団体** 企業ボランティア松江ネットワーク会議
松江市ボランティア連絡協議会
まつえの「わ」実行委員会
歴史の宝石箱松江を発信する会
松江市ボランティアセンター
- 協賛団体** 島根県共同募金会
勤労者マルチライフ事業事務局
(島根県経営者協会、島根県社会福祉協議会)

問い合わせ

松江市ボランティアセンター
(松江市社会福祉協議会内)
TEL (0852) 27-8388
FAX (0852) 24-1020

来場者駐車場: 旅館「なにわー水」東隣駐車場・一文字屋旅館跡地駐車場をご利用下さい。

～ 広げれボランティアの輪 ～ 第2回 松江ボランティアフェスティバル

日時 2007年3月11日(日) 10:00～15:00

メイン会場 松江市総合福祉センター
松江市千鳥町70



【駐車場】旧KKF駐車場・一文字屋跡地

開会式 10:00～

司会
船江南高等学校
放送部

9:45～中央キッズバンド演奏

- オープニングイベント
(中央キッズバンド演奏)
- テープカット
- 実行委員長挨拶

目頃から助け合いができるまちづくり

平成18年7月豪雨災害は、全市民にとって記憶に新しく、今回のシンポジウムを通して市民の皆さんと共に教訓を活かしていきたいと思ひます。多数のご来場をお待ちしております。

午前

10:20 災害救援ボランティアシンポジウム

(テーマ) 「人と地域をつなげる災害救援ボランティア」

(コーディネーター・コメンテーター) 松江市防災安全課長 林 繁幸 氏

(シンポジスト) 公民館: 津田公民館長 長岡 誠 氏

地区防災関係者: 城西地区 後藤 貞成 氏

日本赤十字社島根県支部: 事業推進課長 澤田 和憲 氏

島根大学学生: 法文学部 福祉社会コース 2回生 吉賀 研吾 氏

企業: (JAF) 社団法人日本自動車連盟島根支部 ロードサービス隊松江基地主任 別所 貴夫 氏



主催 第2回松江ボランティアフェスティバル実行委員会

主催団体 企業ボランティア松江ネットワーク会議 / 松江市ボランティア連絡協議会

協賛団体 松江市市民活動センター / 松江市社会福祉協議会 / 松江市ボランティアセンター

松江市公民館長会 / シルバー人材センター / 日本赤十字社島根県支部 / 島根県社会福祉協議会

第31回全国高等学校総合文化祭島根県実行委員会 / (財)しまね国際センター / 松江市町内会自治会連合会

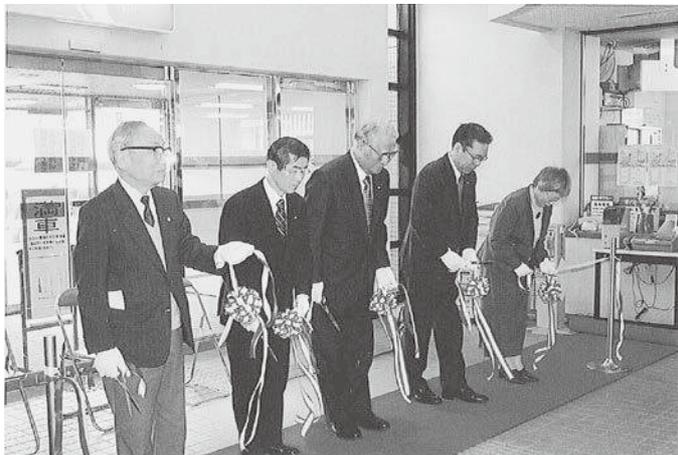
後援 松江市 / 松江市教育委員会

問い合わせ先

松江市ボランティアセンター (松江市社会福祉協議会内)

TEL (0852) 27-8388 FAX (0852) 24-1020

TEL (0852) 28-1234 <http://www.shakyou-matsue.jp/>



第2回 松江市ボランティアフェスティバル開会行事の様子

第3回松江市ボランティアフェスティバルの様子

第3回目の今年は、3月9日（日）松江市総合福祉センターを主会場に、城西公民館を第二会場にして「ふるさとの伝統・文化をこどもたちの未来に伝えたい」のテーマで開催されました。なかでも市長と中高生の対談、市内で活躍する子どもたちの伝統・文化の発表や体験活動等は盛り上がり、家族連れを中心に1700人を超える入場者で賑わいました。

当日は出店18団体、体験活動12団体、展示発表11団体、ステージ演技12団体、対談13名など多数の参加協力をいただきました。実行委員の周到な準備に加えて大勢の当日ボランティアの協力のもと、心ひとつにして、人と人との新しい出会いや交流を楽しみ、地域福祉の大切さを実感した一日になりました。



子どもたちとオープニングセレモニー・松浦正敬市長（中央）

【感想文】

市長、教育長をはじめ、ボランティア関係団体の代表の方たちの隣には、内中原幼稚園、末次保育所から参加してくれた5歳児が5名並び、開幕のテープカットが行われました。子ども達の参加により、家族の方もたくさん来てくださり、展示物や物品販売等ボランティア団体の活動状況をご覧になり、少しでも理解していただけたいと思います。

未来の松江を担う子どもたちが、この雰囲気を感じとり、ごく自然な形でボランティア活動を実践遂行してくれることを期待したいものです。

高齢社会をよくする会・ぶどうの会 小川

【感想文】

ステージは、末次保育園児30名による太鼓や古志原ドリム会の「南中ソーラン」で元気いっぱいのスタートとなりました。午後から文化庁が主催する「伝統文化子ども教室」支援事業をうけている松江民謡連子ども教室の3歳～中学1年生の23名による銭太鼓は、僅かな期間にマスターし楽しく演技、その他、清吟堂吟友会の子どもの珍しい吟詠・仕舞や高校生の琴、三味線の演奏、松江養護学校の「よさこい 松養」など。家族連れの入場も多く、会場は一日中賑わいました。

ステージ担当 松江四季の会事務局 松浦



松江民謡連子ども銭太鼓教室

【感想文】

午前は松浦市長と松江市内の中高生の対談がありました。ステージ上には松浦市長と学生が12名。まるでNHKの人気番組「課外授業ようこそ先輩」のようなスタイルです。市長と中高生が率直にボランティアへの取り組みや、全国高校総合文化祭について語り合う姿は、会場を訪れた多くの観客にも大好評でした。

そして、市長もこれからの松江をになってくれる子どもたちへ握手を一人づつするなどエールを送り、素晴らしいひとときを過ごせたことに満足でした。

松江地域振興予算ゼロ課 事務局長 今岡



松浦市長と松江市内の中高生の対談

第4回 松江市ボランティアフェスティバルの様子



シンポジウムⅡ
ホーランエンヤの歴史とその活動について

第5回 松江市ボランティアフェスティバル

2010年1月12日に起こったハイチ地震の募金を実施。また、松江市在住のハイチ元駐在外交官の太田良親さんを囲み「世界に目をむけ 心を広げよう」をテーマに子供たちとの対話を行いました。



オープニングの様子



ハイチへの義援金

第6回 松江市ボランティアフェスティバル 松江市ボランティアセンター開所25周年記念



ボランティア標語表彰式



最優秀賞

「ボランティア
町の輪 人の輪 心の輪」
須山 智帆
(島根県立松江農林高等学校2年)



優秀賞

「始めよう
ちょっとの気配り ボランティア」
尾前 夏実
(開星中学校3年)



優良賞

「その輪をね
どんどん広げて いい松江」
柏木 一志
(松江市立八雲小学校5年)



盲導犬協会PR

広がれ ボランティアの輪

実施日：平成 24 年 3 月 25 日(日)

第7回 松江市 ボランティアフェスティバル



「東北物販」
東北支援コーナーでは、東北物産の油ひ、鯨缶、石の森章太郎グッズなどが販売された。



「パネルディスカッション」
コーディネーター
島根大学 毎熊 浩一 准教授
パネラー 会社員 木村 猛さん
ツインパロン奏者
斉藤 浩さん
お手玉大使
高木 文子さん
島根大学学生
堀井 敬行さん



◇体験コーナー
銭太鼓グループ
伊勢宮コイサンス

私にも、きっと
できることがある

東北支援



オープニング
松江第一中学校吹奏楽部の
すばらしい演奏



たくさんの来場者で賑わい
ました。



◇ミニステージ
松江かりゆしバンド



◇日本盲導犬協会
あさひ訓練センターパピネス
デモンストレーション

第8回 松江市ボランティアフェスティバル開催

平成25年3月24日(日)

於：松江市総合福祉センター及び
在宅福祉サービスセンター



躍動感あふれる☆開星高校チアリーディング部



ボランティア団体活動紹介コーナーの様子

広がれボランティアの勢
今回のフェスティバルでは約1,200名(ボランティア・スタッフ含む)の参加者でにぎわい、あらゆる世代を超えた交流、さらには次世代に向けたボランティア意識の啓発ができました。



盲導犬コーナー
デモンストレーションの様子



渡辺克己さんトークライブ
「～抱きしめたいほどの人生を～」

高校生ボランティアの
大活躍!



本フェスティバル開催に当たりご支援ご協力戴きました関係各位に御礼を申し上げ、ご報告とさせていただきます。大変ありがとうございました。

松江市ボランティアフェスティバル実行委員長 平田 寛容

素敵な歌声で
観客を魅了!



浜田真理子さん
ミニコンサート

第9回 松江市ボランティアフェスティバル

平成26年3月23日(日) 実施



開
会
式

当フェスティバルは「防災」をテーマに、関係各機関の協力を得て、約1000名の来場を戴き盛大に開催する事ができ、「広げようボランティアの輪」の広がりを強く感じております。

ご支援、ご協力戴きました関係各位並びに高校生ボランティア、個人ボランティアの皆さまに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

松江市ボランティア連絡協議会
会長 平田 寛 容

創立30周年記念事業表彰



【受賞団体】

- ・音訳奉仕の会 ひびき松江
- ・要約筆記サークル 松江かけはし
- ・手話サークル わかば
- ・みずうみ赤十字奉仕団

当会の設立当初からご協力頂いている。



オープニング 松江一中吹奏楽部演奏



立正大浜南高校
マーチングバンド部演奏



気象台講座

備えあれば
憂いなし



保育所園児の演技

しらこい保育所



体
A
E
D
験

緊急時は、頼みましたよ



広がれボランティアの輪
ボランティア行方人には、福来たる！
あなたです。防災の主役は！



盲導犬

盲導犬のお仕事を学びました



手話

私達これなボランティア
していまーあ！



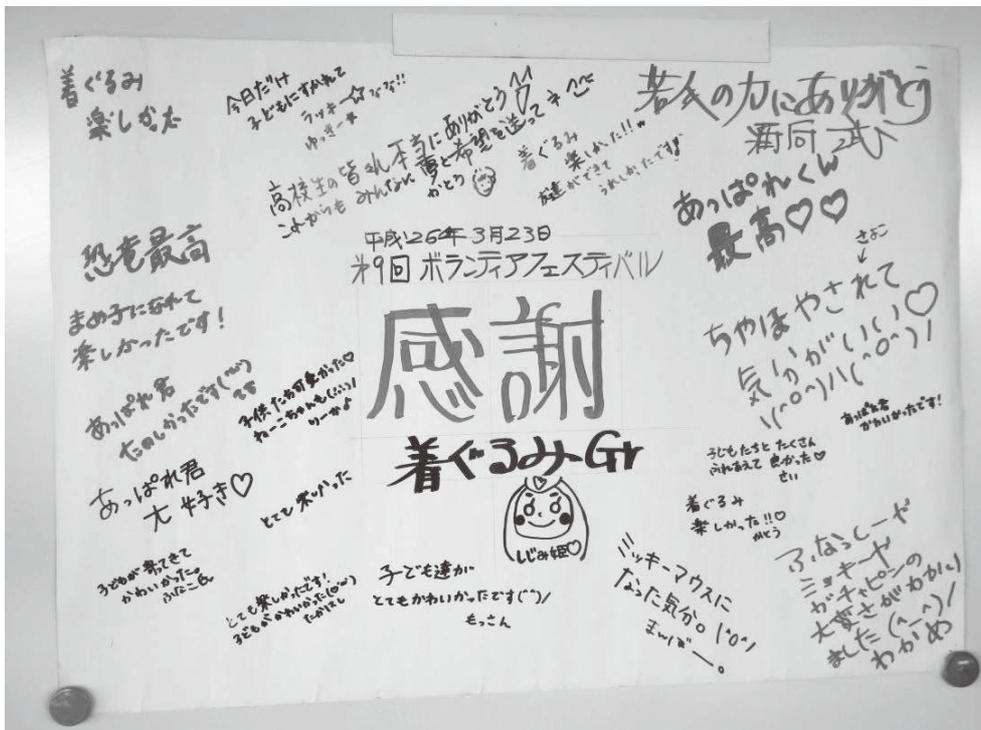
Tオアシス ビッグバンド演奏



販売

活動資金稼げました

高校生ボランティア参加者の寄書き



ボランティアとして参加した、松江市内の高校生の皆さんが記念に寄書きをしてくださいました。

約60名の方に、「受付」・「展示、体験コーナー」・「販売コーナー」・「防災体験コーナー」・「着ぐるみを着て施設内を巡回」・「お茶席」等に参加いただきました。

これからもボランティアに参加して、ボランティア活動を次世代に繋げていただきたいと思います。

【協力校及び保育所名】

松江市立第一中学校・しらとり保育所
 島根県立松江北高等学校・島根県立松江東高等学校
 島根県立松江商業高等学校・松江市立女子高等学校
 松徳学院中学校高等学校・永島学園松江西高等学校
 大多和学園開星中学校高等学校

市民ボランティアまつりの様子

(広報誌第27号より)

松江市ボランティア連絡協議会設立30周年記念事業

「市民ボランティアまつり」

平成25年10月27日(日)

JR松江駅前での
30周年記念式典の様子



記念事業開催にあたり、参加頂きました市民の皆様、さらにご支援、ご協力頂きましたJR松江駅駅長内山様、他関係各位の皆様方に感謝申し上げます。

松江市ボランティア連絡協議会
会長 平田 寛容



開星高校
オープニング演奏



勇ましい
松江保育所園児の皆さんの南中ソーラン



よさこい・南中ソーラン総踊り



細かいところまで
松江駅周辺掃除中の
ボランティアさん



我が町をきれいに！
掃除、ウォーキング
(松江駅～カラコロ広場)



災害時を想定しての
炊き出し訓練！



京店商店街協力
フリーマーケット



息ピッタリ！ 明るい笑顔咲いて
開星高校チアダンス部

第1回交流会“みんなで知り合いをふやそう会”

平成23年7月23日（土）企画委員会主催で、子ども、障がい児支援のボランティア活動を行っているグループの方18名が集まり、情報交換会を開催しました。

参加団体の自己紹介からはじまり、日々の活動状況などを聞き、それぞれの団体が学ぶことが多く、また、横の連携にも繋げることができ有意義な会となりました。



情報交換会の様子

分野別交流会

従来、全体交流会を開催していましたが、時間の関係上活動紹介が十分に出来ず会員同士の交流と情報交換をもっと活発にしたいとの要望を踏まえ、組織推進委員会で検討した結果、活動分野を16分類として、下記4部会構成とする分野別委員会を立ち上げ、平成24年11月より活動を実施しました。皆様の活発な情報交換、交流の機会となっています。



分野別交流会の様子

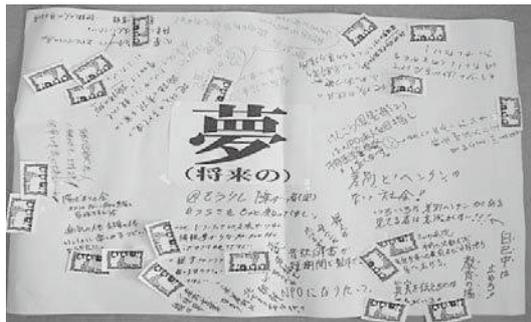
〈4部会の構成〉

1. 健康・福祉部会
2. 子ども・青少年・人権部会
3. 文化・芸術・スポーツ・レクリエーション・国際・情報部会
4. 地域・環境・防災部会

「ワールド・カフェ」開催しました

分野別委員会では平成25年5月11日（土）4部会合同交流研修会「ワールド・カフェ」を開催しました。

各テーブルに『テーマ』を決め、それぞれが自由に語り合い、活発な意見交換となりました。



平成25年度県民いきいき活動奨励賞 受賞

松江市内ボランティア団体の相互交流、市民へのボランティア意識の啓発・促進活動を永年にわたり継続してきた功績により受賞しました。

平成26年2月10日（月）県庁知事室にて授賞式が行われ、溝口知事より授与される。



フリーマーケットで募金活動

◇赤い羽根共同募金への協力

10月1日からはじまる赤い羽根共同募金の期間に併せ、各団体の活動紹介・啓発を目的に、フリーマーケットを開催しました。各団体から寄付して頂いた品物の販売や、手作り品を販売し、その売り上を赤い羽根共同募金に寄付を行ってきました。



しらかた広場でのフリーマーケットの様子（平成24年11月4日）

◇東日本大震災への支援

今回、開催したフリーマーケットは、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」支援を目的に行い、売上金を『しまね災害ボランティア基金』への寄付金として、平田会長と今岡企画委員長より島根県社会福祉協議会今岡会長様に贈呈いたしました。



スティックビルでのフリーマーケットの様子



寄付金贈呈の様子

松江市ボランティア連絡協議会交流会 美保関バスツアー“せんだん”を見に行こう!

平成24年11月17日（土）に交流会としてバスツアーを行いました。本協議会加入団体の1つであるボランティアグループ“せんだん”の活動拠点である美保関に出かけました。

美保関の灯台、歴史資料館を見学した後、地域に根ざしたボランティア活動を行っている“せんだん”のサロンにお邪魔し、昼食をかこみながらの交流、また地元の鮮魚・干物のおみやげを買うことができ、楽しい交流会となりました。



歴史資料館を見学中



地域行事に積極的に協力を“せんだん”（敬老会の様子）